

# 2023年5月期第3四半期 決算説明資料

2023年4月5日

 三協立山株式会社

## ✓ 2023年5月期 第3四半期業績は前年同期比増収減益

- ◆ 売上は国内外での地金価格上昇に連動した増加や全事業で進める価格改定、国際事業における為替影響などにより前年同期比で増収が継続。
- ◆ 利益面では、建材事業での市場停滞に起因した物量減少や価格改定の進捗遅れに加えて、商業施設事業での価格改定効果を上回る資材高、為替影響などにより減益。
- ◆ 第3四半期3ヵ月実績については国際事業における収益改善効果により、前年同期の赤字から黒字化。
- ◆ 国際事業は第2四半期に引き続き、第3四半期でもセグメント黒字化を達成。
- ◆ 今後は、国の補助金をうけたリフォーム市場の活性化による樹脂内窓など関連商材の需要増加や、さらなる価格改定効果が見込まれる。一方リスクとして、国内の新設住宅着工戸数が低調であることや諸資材価格、電力価格の上昇が見込まれること、さらに欧州においても依然としてエネルギー事情の悪化懸念が残るなど、見通しにくい状況。

## 業績結果

(億円)

	9ヵ月累計（2022年6月～2023年2月）				3ヵ月累計（2022年12月～2023年2月）			
	2023/5期 3Q実績	2022/5期 3Q実績	前年同期比		2023/5期 3Q実績	2022/5期 3Q実績	前年同期比	
			増減額	%			増減額	%
売上高	2,758	2,506	+252	+10.1%	887	855	+31	+3.7%
営業利益	10	27	▲16	▲60.8%	2	▲2	+4	-
営業利益率	0.4%	1.1%	—	▲0.7p	0.2%	▲0.3%	—	+0.5p
経常利益	16	26	▲10	▲38.3%	3	▲1	+4	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6	3	+2	+66.6%	0	▲6	+7	-

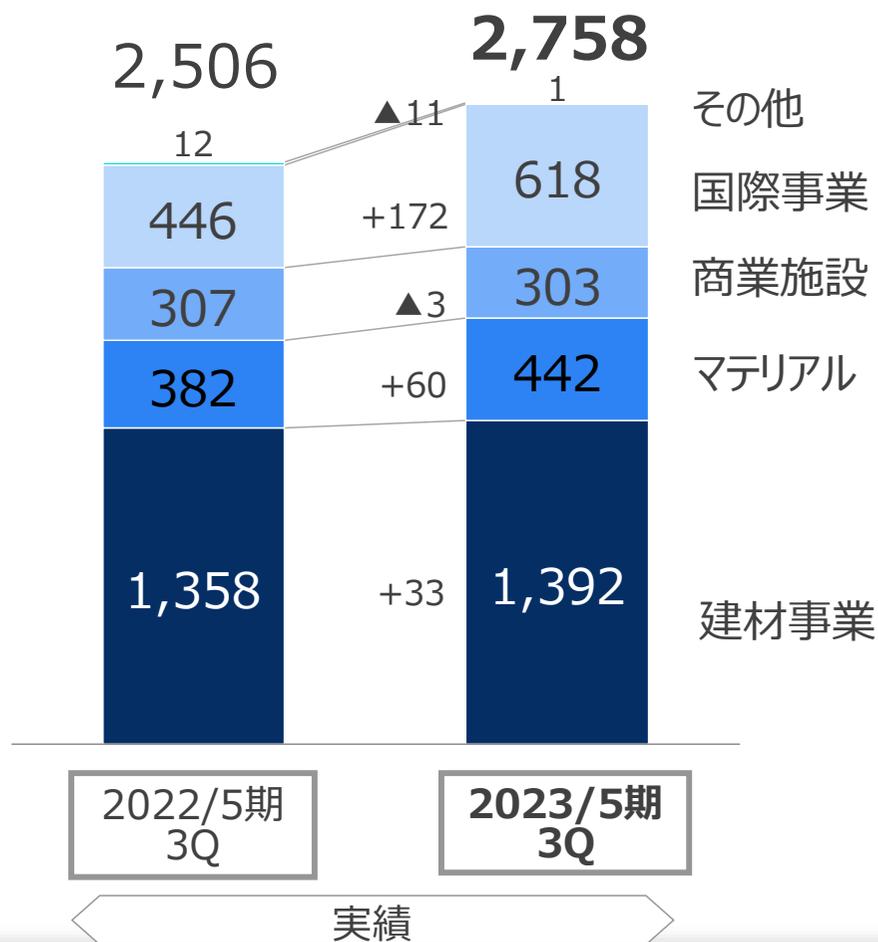
※金額は億円未満切り捨て表示、率は四捨五入表示

※3Q時点で、通期業績予想および配当について変更なし

売上高

2,758 億円

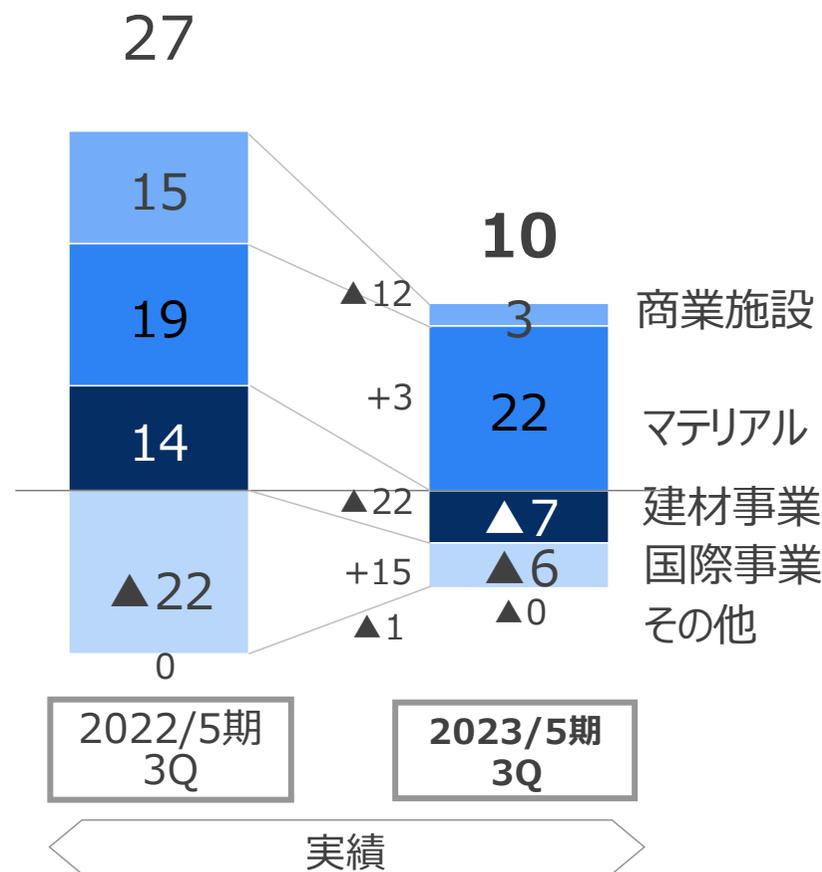
前年同期比 + 252 億円  
(+ 10.1%)



営業利益

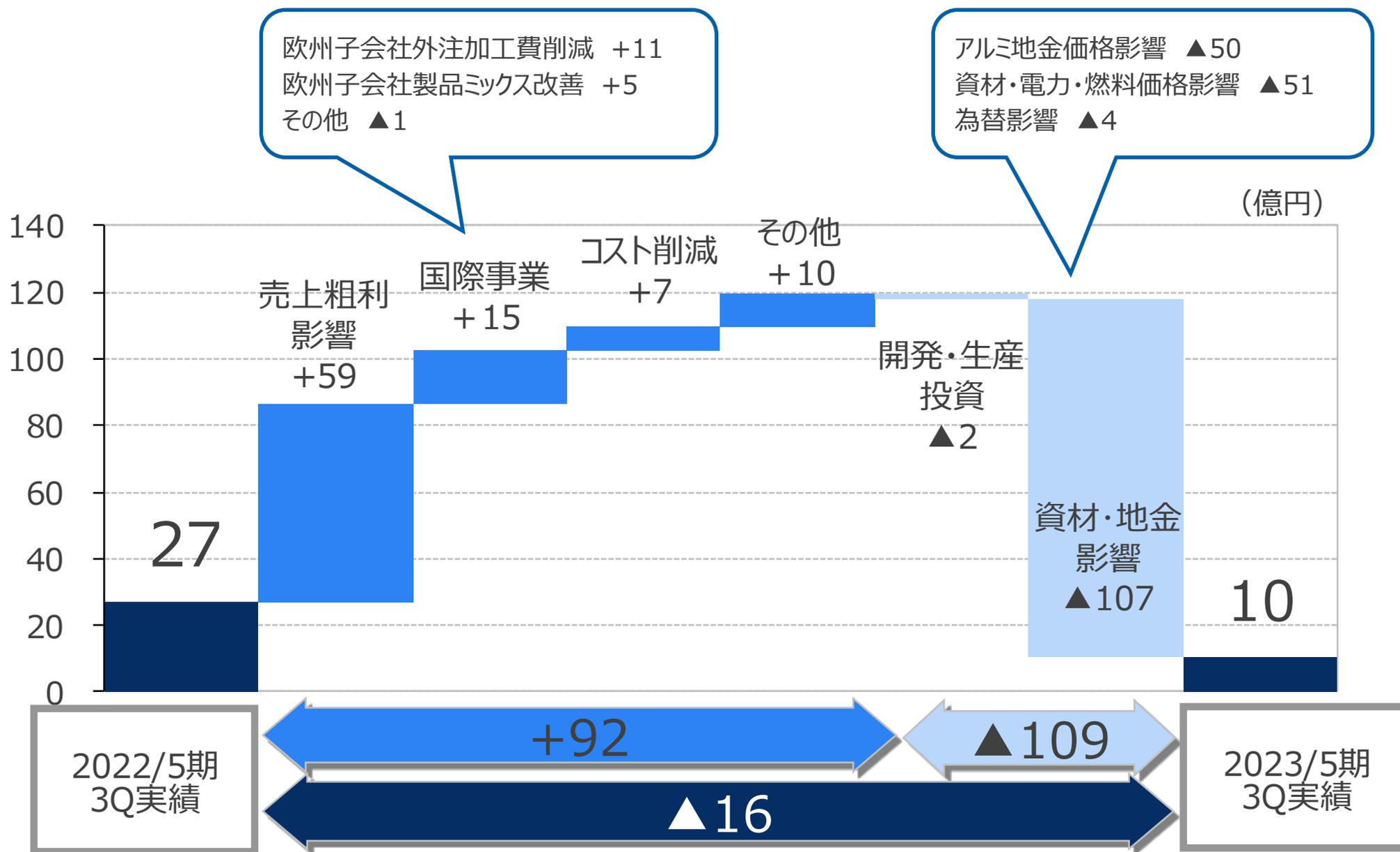
10 億円

前年同期比 ▲ 16 億円  
(▲ 60.8%)



※金額は億円未満切り捨て表示

# 2023/5期 第3四半期 営業利益 増減要因 (9ヵ月実績 前年同期比) 三協立山



※国際事業に係る利益増減については、「国際事業」に集約  
 ※金額は億円未満切り捨て表示

# 参考資料

	対象期間	2020年	2021年	2022年
【建材事業（住宅）指標】 新設住宅着工戸数	4月-12月	62.1万戸 (10.0%減)	66.5万戸 (7.2%増)	<b>65.9万戸 (1.0%減)</b>
新設住宅着工戸数[持家]	4月-12月	20.1万戸 (10.0%減)	22.4万戸 (11.2%増)	<b>19.6万戸 (12.5%減)</b>
新設住宅着工戸数[貸家]	4月-12月	23.3万戸 (10.8%減)	25.2万戸 (8.1%増)	<b>26.6万戸 (5.6%増)</b>
【建材事業（ビル）指標】 非木造建築物着工床面積	4月-12月	48.6百万㎡ (11.2%減)	53.3百万㎡ (9.5%増)	<b>53.5百万㎡ (0.4%増)</b>
【マテリアル事業指標】 アルミ型材押出重量[サッシ・ドア除く]	6月-2月	23.8万 t (9.3%減)	24.5万 t (3.1%増)	<b>23.2万 t (5.1%減)</b>
【商業施設事業指標】 建築着工棟数[店舗]	4月-12月	3,862棟 (23.9%減)	4,208棟 (9.0%増)	<b>4,571棟 (8.6%増)</b>
【国際事業指標】 ドイツ自動車生産台数	4月-12月	249.6万台 (26.5%減)	215.8万台 (13.5%減)	<b>260.8万台 (20.9%増)</b>
タイ自動車生産台数	4月-12月	97.4万台 (32.9%減)	121.7万台 (25.0%増)	<b>140.3万台 (15.3%増)</b>
【アルミ地金価格平均値】 [日本経済新聞より]	6月-2月	244.6円/kg	379.3円/kg	<b>400.5円/kg</b>

( ) は前年同期比

※金額は億円未満切り捨て表示

売上高

	3ヵ月実績				実績累計			
	'22/5期	'23/5期	増減	増減	'22/5期	'23/5期	増減	増減
1Q	421	<b>437</b>	+16	+3.8%				
2Q	484	<b>505</b>	+21	+4.3%	906	<b>943</b>	+37	+4.1%
3Q	451	<b>448</b>	▲3	▲0.7%	1,358	<b>1,392</b>	+33	+2.5%
4Q								

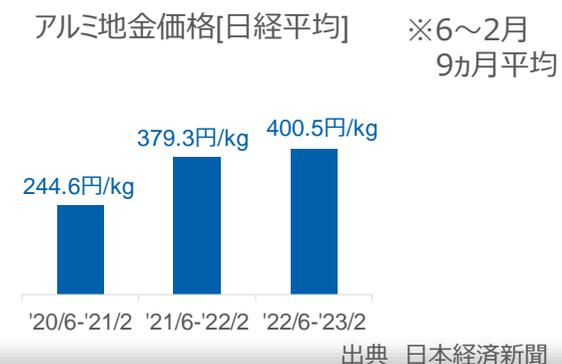
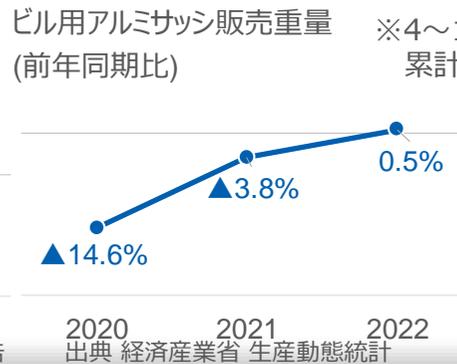
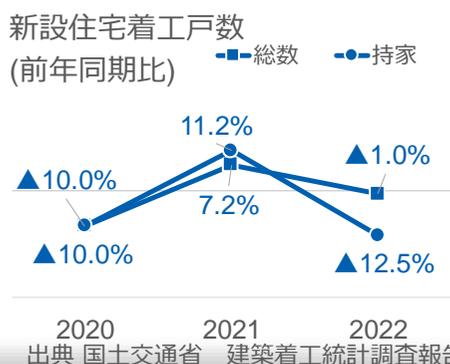
- 改装・リフォーム需要の増加
- 価格改定効果

セグメント利益

	3ヵ月実績				実績累計			
	'22/5期	'23/5期	増減	増減	'22/5期	'23/5期	増減	増減
1Q	4	<b>▲7</b>	▲12	-				
2Q	12	<b>1</b>	▲10	▲86.0%	17	<b>▲5</b>	▲23	-
3Q	▲2	<b>▲1</b>	0	-	14	<b>▲7</b>	▲22	-
4Q								

- 価格改定を進めているが、エネルギーや諸資材価格の上昇影響を吸収しきれず

事業環境



※金額は億円未満切り捨て表示

売上高

(億円)

	3ヵ月実績				実績累計			
	'22/5期	'23/5期	増減	増減	'22/5期	'23/5期	増減	増減
1Q	119	<b>143</b>	+23	+19.8%				
2Q	126	<b>150</b>	+24	+19.1%	246	<b>293</b>	+47	+19.4%
3Q	135	<b>148</b>	+12	+9.2%	382	<b>442</b>	+60	+15.8%
4Q								

- アルミ地金市況に連動する売上の増加など

セグメント利益

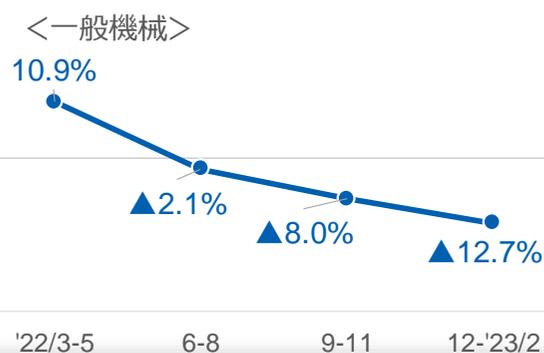
(億円)

	3ヵ月実績				実績累計			
	'22/5期	'23/5期	増減	増減	'22/5期	'23/5期	増減	増減
1Q	10	<b>8</b>	▲1	▲18.7%				
2Q	5	<b>10</b>	+5	+96.8%	16	<b>19</b>	+3	+21.0%
3Q	3	<b>3</b>	0	+0.9%	19	<b>22</b>	+3	+17.3%
4Q								

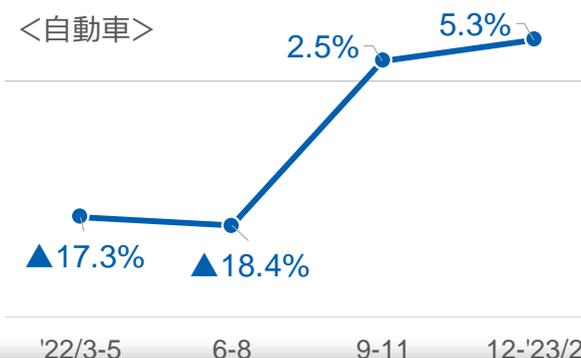
- エネルギーや諸資材価格の上昇影響
- 収益改善施策の実施

事業環境

国内アルミ型材押出重量  
(前年同期比)



<自動車>



出典 日本アルミニウム協会統計

※金額は億円未満切り捨て表示

売上高

	3ヵ月実績				実績累計			
	'22/5期	'23/5期	増減		'22/5期	'23/5期	増減	
	(億円)	(億円)	(億円)	(%)	(億円)	(億円)	(億円)	(%)
1Q	94	<b>91</b>	▲3	▲3.8%				
2Q	111	<b>116</b>	+4	+4.4%	206	<b>208</b>	+1	+0.6%
3Q	100	<b>95</b>	▲4	▲4.8%	307	<b>303</b>	▲3	▲1.2%
4Q								

- 小売業を中心に店舗の新規出店や改装の需要を取り込んだが、一部改装分野の投資抑制や延期

セグメント利益

	3ヵ月実績				実績累計			
	'22/5期	'23/5期	増減		'22/5期	'23/5期	増減	
	(億円)	(億円)	(億円)	(%)	(億円)	(億円)	(億円)	(%)
1Q	3	<b>0</b>	▲3	▲85.1%				
2Q	6	<b>2</b>	▲3	▲60.2%	10	<b>3</b>	▲7	▲69.8%
3Q	5	<b>0</b>	▲5	▲94.4%	15	<b>3</b>	▲12	▲78.3%
4Q								

- 価格改定を進めているが、諸資材価格の上昇や為替影響などを受ける

事業環境



出典 国土交通省  
建築着工統計調査報告



出典 経済産業省  
商業動態統計調査

※4~12月累計

※金額は億円未満切り捨て表示

売上高

(億円)

	3ヵ月実績				実績累計			
	'22/5期	'23/5期	増減	増減	'22/5期	'23/5期	増減	増減
1Q	144	<b>202</b>	+58	+40.7%				
2Q	143	<b>221</b>	+78	+54.6%	287	<b>424</b>	+136	+47.7%
3Q	158	<b>194</b>	+35	+22.5%	446	<b>618</b>	+172	+38.7%
4Q								

- 欧州の自動車分野が堅調に推移したこと
- アルミ地金市況に連動する売上の増加や為替影響など

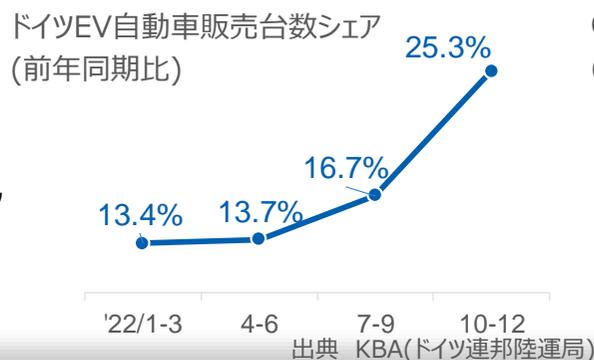
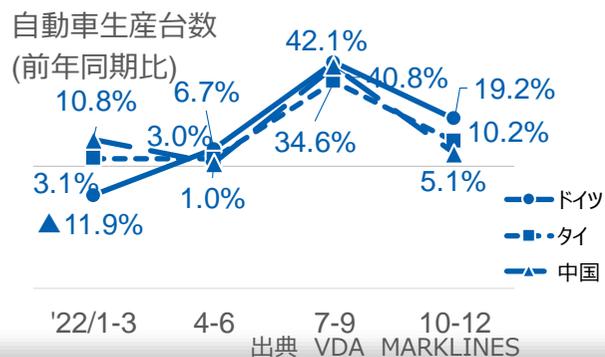
セグメント利益

(億円)

	3ヵ月実績				実績累計			
	'22/5期	'23/5期	増減	増減	'22/5期	'23/5期	増減	増減
1Q	▲ 4	▲ <b>10</b>	▲ 6	-				
2Q	▲ 8	<b>3</b>	+11	-	▲ 12	▲ <b>6</b>	+5	-
3Q	▲ 10	<b>0</b>	+10	-	▲ 22	▲ <b>6</b>	+15	-
4Q								

- エネルギー価格などの上昇影響
- 欧州子会社でのコスト改善施策を進めたこと

事業環境



## 【 計画前提・実績 】

		期中 平均値	2022/5期 3Q9ヵ月実績	2023/5期 前提 (通期)	2023/5期 3Q9ヵ月実績
アルミ地金価格 (日本経済新聞)		6~2月	379.3円/kg	405.0円/kg	<b>400.5円/kg</b>
為替	ドル	4~12月	111.1円	130.0円	<b>136.5円</b>
	ユーロ	4~12月	130.6円	130.0円	<b>140.6円</b>
	バーツ	4~12月	3.4円	3.5円	<b>3.8円</b>
	元	4~12月	17.3円	20.0円	<b>19.9円</b>

# サステナビリティビジョン2050 Life with Green Technology

～「環境技術でひらく、持続可能で豊かな暮らし」を実現する企業グループへ～

## カーボンニュートラルへの挑戦

事業活動に伴う温室効果ガス排出削減と、環境技術で創出する商品・サービスによる温室効果ガス排出削減とのバランスにより、カーボンニュートラルを目指す。

## 資源の循環

循環型社会の実現に向けて、主要原材料の循環使用の促進と、廃棄物の再資源化を推進。

## 人財を未来へつなぐ

多様性や人権を尊重し人材育成を推進することで活力ある企業風土を創出し、豊かな暮らしを実現する原動力となる「人財」を未来につなぐ。

## 2030年目標

### 温室効果ガス排出量

2013年度比で 50% 削減

対象：国内グループ Scope1+2

循環アルミの使用を促進

女性管理職比率 10%

## E 環境



## S 社会



## G ガバナンス



**【本資料に関する注意事項】**

本資料に記載されている内容には、三協立山株式会社および連結子会社（以下、総称して「三協立山グループ」という）の計画、戦略、業績などの将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、現時点で入手可能な情報から得られた三協立山グループの仮定や判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性およびその他の要因が内在しています。それらの影響により、三協立山グループの実際の業績、事業活動、財務状況は、これらの見通しと大きく異なる場合があります。また、新たな情報、将来の事象、その他にかかわらず、三協立山グループが将来の見通しに関する記述を見直すとは限りません。なお、業績など実際の結果に影響を与えるリスク、不確実性およびその他の要因としては、三協立山グループの事業領域を取り巻く経済情勢、三協立山グループの製品やサービスの需要動向の変化や価格競争の激化、為替相場、アルミ地金などの価格変動が挙げられますが、これらに限られるものではありません。

本資料の複製・転載はお断りします。